

放牧場産子を舍飼い育成産子並に発育させる粗飼料の給与技術

福島県畜産試験場 沼尻支場
平成13年度畜産試験場成績概要

1 部門名

畜産－肉用牛－畜産ほ育・育成
分類コード 07-02-40000000

2 担当者

小林 準・佐藤茂次・高萩淳子・沼 玲子*(*原町地域農業改良普及センター)

3 要旨

放牧場育成産子に舍飼い育成産子並の増体(300日齢時体重:去勢300kg、雌270kg)を確保させるため、良質粗飼料の給与技術を検討した。生後4ヶ月齢まで親子放牧したのち、4頭1群の舍飼いに移し裁断混合粗飼料を給与した。裁断混合粗飼料は沼尻支場産オーチャードグラス乾草を5cm、市販ルーサン乾草を5cm、イナワラを3cmに裁断し、重量比5:3:1に混合したものをを用い、不断給与とした。濃厚飼料は体重の1.8%を制限給与した。

- (1) 去勢では、300日齢時体重が昨年度で $305 \pm 30\text{kg}$ 、今年度で $301 \pm 50\text{kg}$ と目標を達成し、体高も全国和牛登録協会の標準発育曲線の平均値を上回る発育となった。
- (2) 雌では、300日齢時体重が $264 \pm 5\text{kg}$ と目標を若干下回ったが、体高は全国和牛登録協会の標準発育曲線の平均値を上回る発育となった。
- (3) 去勢に乾草を裁断せずに給与した場合、300日齢時体重は $286 \pm 29\text{kg}$ と目標を下回ったが、体高は全国和牛登録協会の標準発育曲線の平均値を上回る発育となった。その際、6ヶ月間で1頭当たり90kg(原物)の乾草が引き込みロスとなった。
- (4) オーチャードグラスとルーサンを個別に裁断した場合と、両者を混合しながら一緒に裁断した場合の作業時間は大きな差はなかった。乾草とイナワラの混合方法について検討した結果、手作業(1分間混合)と肥料混合機(5分間混合)では混合程度が大差なく、肥料混合機は総作業時間(投入、混合、排出)で19分でかかった。

以上のことから、4ヶ月齢から裁断混合粗飼料を給与することにより、放牧場育成産子を舍飼育成産子並に発育させることができる。また、裁断・混合方法は労働時間が短く、手間の少ない混合しながらの裁断と手作業によるイナワラの混合が薦められる。

4 その他の資料等

なし